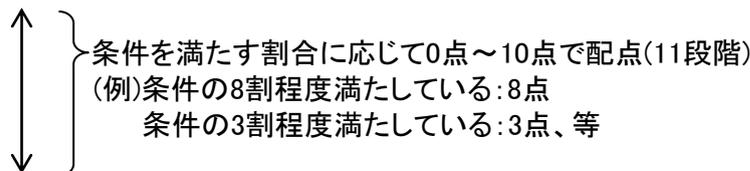


2012年東京都知事選挙における候補者マニフェストのできばえチェック表

(敬称略)

基本項目	詳細項目	配点	候補者名	候補者名	候補者名	候補者名
			猪瀬直樹	宇都宮健児	笹川堯	松沢成文
①理念	ありたい姿があるか	10	5.50	8.00	5.00	5.25
	ありたい姿を目指す理由が示されているか					
	地域の課題を踏まえた内容になっているか					
②政策の一貫性	政策が体系化されているか	10	6.25	7.50	5.00	5.25
	矛盾する政策がないか					
	地域事情にあった政策があるか					
③政策の具体性	政策が具体的な内容になっているか	20	10.25	13.50	9.50	9.50
	政策の内容は、実行可能なものか					
	政策の達成度の事後検証は可能か					
④市民起点度	読みやすい工夫がされているか	10	5.00	8.50	2.50	7.00
	マニフェストを周知するための工夫がされているか					
	マニフェストに市民の声をとりこむ努力をしたか					
計		50	27.00	37.50	22.00	27.00
100点に換算		100	54.00	75.00	44.00	54.00
コメント			<p>具体的な都市像が浮かび上がるものではないが、理念は示されている。副知事としての経験を生かし、東京都の現状に即した具体的な政策が体系的に示されている。ただし、期限や目標値等の設定はほとんどなく、事後検証可能性が担保されていない。マニフェストに限ったことではないが、ツイッター、コラム、動画等で積極的に発言する姿勢は評価できる。</p>	<p>具体的な都市像こそ明確ではないものの、立候補の動機やそこからイメージする理想都市像はわかりやすい。また、政策も課題解決のために体系立てられている(詳細版に政策が詳しく書かれている)。全てではないが数値目標も掲げられている。ITによる情報伝達手法も凝っており読み手にわかりやすく伝えていく点が評価できる。ただ、政策実現のための財源根拠や政策の優先順位がもっと明確になればさらに良いマニフェストになる。</p>	<p>東京を世界一のまちにするための政策が掲げられているが、その根拠となる理由が述べられていない。長期にわたる国政の経験から分権自立の姿勢を示した政策の点は評価できるが、他の政策との関連性が乏しく唐突感がある。ホームページなどインターネット上で情報発信もなため有権者に政策を届ける工夫も乏しい。</p>	<p>民間力の活用という視点から都庁を改革し、そこで生み出した資金を未来への投資に回す、という道筋は理解できるが、具体的な方法が明確でない。政策は、いくつかの独自の提案があるが、散発的な印象がある。期限や目標値等の設定がなく、事後検証可能性に課題がある。マニフェストをテーマとした動画配信のチャンネルを設けている点やお笑いタレントとの対談動画などは”わかりやすさ”を工夫している点で評価できる。</p>

10点.....条件を満たしている



0点.....条件を満たしていない

※「③政策の具体性・実現可能性」は2倍の配点

※複数名によるチェックを行い、その平均点を得点として記載した